



常設展示
開催予告

羽生の文学と歴史

[会 場] 羽生市立郷土資料館展示室
[期 間] 3月5日(土)～5月8日(日) 入館無料
[休館日] 火曜日、第4木曜日(ただし5月3日は開館、6日が休館)

常設展示では、羽生が舞台となった、明治時代の文豪田山花袋の小説『田舎教師』に関連する資料と、羽生市内で発見された旧石器時代から中世までの幅広い時代の考古資料を紹介します。

ぜひご来館ください。



小林秀三の日記
(複製品)



発掘遺跡の土面
(複製品)

令和3年度 寺院所蔵資料調査

仏教美術の専門家である林宏一氏(元埼玉県立博物館館長)の指導の下、令和3年5月13日に西福寺(町屋)、10月14日に真光寺(下羽生)、10月14日、11月12日・26日、令和4年1月20日に文殊院(中手子林)の寺院所蔵資料調査(補足調査)を行いました。

郷土資料館は平成17年度～30年度まで市内の寺院・神社106か所、約6,400点の資料を調査してきました。

資料の保存・活用を図っていくため、今年度から寺院を対象に、詳細な資料調査を行っています。



真光寺の調査



文殊院の調査